産業労働心理学Ⅰ

科目ナンバリング　SOP-302
選択　　2単位

堀田　結孝

1. 授業の概要（ねらい）

本講義では労働の文脈における人間の行動や心理について，社会心理学の基礎的知見を学ぶ。産業・組織心理学Ⅰでは主に，労働の文脈における“個人”の心理プロセスに焦点を当てる。
後期に開講予定の産業・組織心理学Ⅱでは，“組織”や”集団”に関するテーマを中心的に取り上げる予定である。

2. 授業の到達目標

・職場における問題（キャリア形成に関することを含む。）に対して必要な心理に関する支援を身につけることができる。
・組織における人の行動について理解することができる。
・近年の労働環境を取り巻く社会問題について関心を抱くことができる。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験70%，課題30%（授業期間中に3回程度，復習のための課題を設ける。LMS上で提出フォームを作成し，提出してもらう予定である）で総合的に評価する。
出席回数が基準に満たない場合には評価対象としない。
受講生数が非常に多い場合は，期末試験は授業期間内ではなく，定期試験期間中に実施する。

4. 教科書・参考文献

参考文献
田中堅一郎　編　産業・組織心理学エッセンシャルズ　ナカニシヤ出版
山口裕幸・芳賀繁・高橋潔・竹村和久　経営とワークライフに生かそう！産業・組織心理学　有斐閣

5. 準備学修の内容

講義で用いる予定のスライドをLMSで公開するので，予め目を通して予習しておくことを推奨する。
また，各自取ったノートやLMSで公開しているスライドを読みなおして，前回までの学修内容を復習することを推奨する。

6. その他履修上の注意事項

資料は帝京大学の LMS や Web File Sever などの Web システムを通して配布する。
私語など他の受講生の迷惑になる行為は決してしないこと。

※ 2018年度以降の入学生には、公認心理師受験資格に必要な科目です。
　2017年度以前の入学生は、心理学科のホームページを参照してください。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス
【第2回】　コミュニケーション1：コミュニケーション能力
【第3回】　コミュニケーション2：葛藤と協調
【第4回】　コミュニケーション3：説得と交渉
【第5回】　ワークモチベーション1：労働意欲
【第6回】　ワークモチベーション2：公正感
【第7回】　人的資源管理1：仕事の能力
【第8回】　人的資源管理2：性格
【第9回】　人的資源管理3：人事評価
【第10回】　作業改善と安全対策1：ヒューマンエラー
【第11回】　作業改善と安全対策2：リスク・マネジメント
【第12回】　ストレスとメンタルヘルス：労働と精神的健康
【第13回】　キャリア形成：ワーク・ライフ・バランス
【第14回】　まとめ
【第15回】　期末試験（予定）